



## 1月の世界の天候

1月の月平均500 hPa高度天気図を見ると、今月は極渦が強いことが特徴で、極域平均の負偏差の大きさは1946年以降最大であった。高緯度では波数2が卓越し、北大西洋と東シベリアで負偏差となった。中緯度では、ヨーロッパとシベリア中部から極東にかけての正偏差、ヨーロッパロシアから中央アジアにかけての負偏差という偏差パターンがみられた。これは、テレコネクションパターンのうちEUパターン（符号は反転）と呼ばれているパターンである。また、北アメリカ大陸東部で正偏差、西部から東太平洋域にかけての広い範囲で負偏差となった。

### ①シベリア中部の高温

東部を除くシベリアのほぼ全域、中国北東部で気温が平年よりかなり高くなり、特にシベリア中部ではヤクーツで月平均気温 $-32.3^{\circ}\text{C}$ （平年差 $+9.7^{\circ}\text{C}$ ）を記録するなど、著しい高温となった。一方、シベリア東部や中国の中・南部では、平年より低い気温となった。

### ②ヨーロッパ北部の多雨

### ③ヨーロッパ南部の少雨

イギリス、ドイツ、ロシア北西部にかけての広い範囲で、多雨となった。一方、持続する気圧の尾根にお

おわれたヨーロッパ南西部や地中海沿岸地域では少雨となった。気温は、ヨーロッパのほぼ全域で平年より高く、特に中・北部では平年を $3\sim 4^{\circ}\text{C}$ 上回る高温となった。

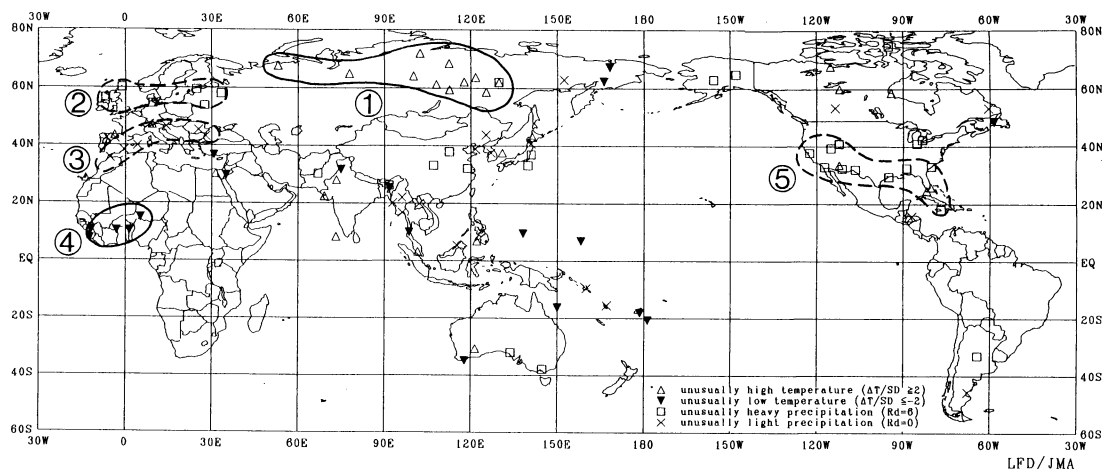
### ④サヘル地方の低温

12月に高温傾向だったサヘル地方では、今月は一転して低温となり、一部地域では平年を $2^{\circ}\text{C}$ 以上下回った。トルコ、サウジアラビアなど中東では、引き続き低温傾向となった。

### ⑤アメリカ合衆国南部の多雨

1月の半ばまで、アラスカ湾の南の北東太平洋に顕著なブロッキング高気圧が持続した。その南の領域では、月平均図にもみられるように、負偏差となり、低気圧の活動が活発となった。このためアメリカ合衆国の南西部では多雨となった。特にカリフォルニア州南部からメキシコ北西部にかけての地域では、サンディエゴで月降水量231 mm（平年の4.3倍）など記録的な多雨となり、死者を含む洪水被害が相次いだ。また、フロリダ州などのアメリカ合衆国の南東部も多雨となった。

（気象庁長期予報課 前田 修平）



1993年1月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▼：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1993年1月の気候表の説明。平均値は、1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500 hPa高度場の平均値は1961～1990年の30年平均値。